



平成 28 年 10 月期 第 3 四半期決算短信（連結）

平成 28 年 8 月 31 日

会 社 名 太陽毛絲紡績 株式会社 グリーンシート銘柄 オーディナリー
 コード番号 3 2 1 1 本社所在都道府県 埼玉県
 本社所在地 埼玉県川口市上青木 5-5-9
 代表者 代表取締役社長 内 山 正 治
 問合せ先責任者 取締役管理部長 太 田 仁 典 TEL (048) 265-2414

1. 平成 28 年 10 月期第 3 四半期の業績（平成 27 年 11 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日）

- （注） 1. 本四半期決算短信の数値は、未監査であります。
 2. 本四半期決算短信の数値は、税効果会計の適用等、所要の会計上の修正を行っておりません。
 3. 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

(1) 連結経営成績

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年第 3 四半期	559	(△9.1)	17	(—)	11	(—)
27 年第 3 四半期	615	(—)	△4	(—)	△16	(—)

	親会社株主に帰属する 当期純利益		1 株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 経常利益率
	百万円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
28 年第 3 四半期	10	(—)	2.86	— ・ —	0.7	0.3	2.1
27 年第 3 四半期	△26	(—)	△7.34	— ・ —	△1.8	△0.5	△2.7

- （注） 1. 有価証券の評価益 72 百万円 デリバティブ取引の評価損益 ー百万円
 2. 期中平均株式数 28 年第 3 四半期 3,567,177 株 27 年第 3 四半期 3,568,137 株
 3. 会計処理の方法の変更 有
 4. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率
 5. 潜在株式の存在 無

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28 年第 3 四半期	3,708	1,464	39.5	410 56
27 年第 3 四半期	3,631	1,441	39.7	404 11

（注） 期末発行済株式数

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 28 年第 3 四半期 3,589,000 株 27 年第 3 四半期 3,589,000 株
 ② 期末自己株式数 28 年第 3 四半期 21,863 株 27 年第 3 四半期 21,663 株

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
28年第3四半期	2	△5	26	89
27年第3四半期	△1	△96	99	75

2. 平成28年10月期の業績予想（平成27年11月1日～平成28年10月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金		
				中間	期末	
通 期	百万円 950	百万円 50	百万円 78	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正 無

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期）21円87銭

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

※ 反社会的勢力との関係排除への取組みとその運用状況

(1) 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方

当社グループは、反社会的勢力との関係につきましては、取引関係を含め一切遮断することを基本方針としております。

(2) 反社会的勢力排除に向けた整備状況

当社グループは、反社会的勢力の経営活動への関与や当該勢力による被害を防止する観点から、管理本部を対応部署とし、必要に応じて、警察、顧問弁護士などの外部専門機関と連携し、反社会的勢力の排除に向けて取り組んでおります。

第92期 第3四半期報告書

(平成27年11月1日から平成28年7月31日)

会社名（定款上の商号）	太陽毛絲紡績株式会社
英文名	TAIYO WOOLEN SPINNING CO., LTD.
コード番号	3 2 1 1
代表者の役職氏名	代表取締役社長 内山 正治
本店の所在地の場所	埼玉県川口市上青木5-5-9
電話番号	048-265-2414
連絡者	取締役管理部長 太田 仁典

I 四半期の業績

(1) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

科 目	期 別		第92期		当期累計		前年同期累計	
	第92期 第1四半期	第92期 第2四半期	第92期 第3四半期	当期累計	前年同期累計	第92期 第1四半期	第92期 第2四半期	第92期 第3四半期
	自平成27年11月1日 至平成28年1月31日	自平成28年2月1日 至平成28年4月30日	自平成28年5月1日 至平成28年7月31日	自平成27年11月1日 至平成28年7月31日	自平成26年11月1日 至平成27年7月31日	自平成27年11月1日 至平成28年7月31日	自平成27年11月1日 至平成28年7月31日	自平成26年11月1日 至平成27年7月31日
I 売上高	169,660	217,851	171,925	559,436	615,145			
II 売上原価	120,051	158,439	121,623	400,113	465,906			
売上総利益	49,608	59,411	50,302	159,322	149,238			
III 販売費及び一般管理費	51,061	45,788	44,851	141,701	154,102			
営業利益（△損失）	△ 1,453	13,623	5,450	17,621	△ 4,863			
IV 営業外収益	3,542	212	3,388	7,143	8,299			
V 営業外費用	4,687	4,534	3,891	13,113	20,110			
経常利益（△損失）	△ 2,597	9,302	4,947	11,651	△ 16,674			
VI 特別利益	—	—	—	—	3,817			
VII 特別損失	947	—	—	947	12,857			
税金等調整前四半期（当期）純利益（△損失）	△ 3,545	9,302	4,947	10,704	△ 25,714			
法人税、住民税及び事業税	163	163	163	491	491			
四半期（当期）純利益（△損失）	△ 3,708	9,138	4,783	10,213	△ 26,205			
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益（△損失）	△ 3,708	9,138	4,783	10,213	△ 26,205			

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

科 目	期 別		第92期		当期累計		前年同期累計	
	第92期 第1四半期	第92期 第2四半期	第92期 第3四半期	当期累計	前年同期累計	第92期 第1四半期	第92期 第2四半期	第92期 第3四半期
	自平成27年11月1日 至平成28年1月31日	自平成28年2月1日 至平成28年4月30日	自平成28年5月1日 至平成28年7月31日	自平成27年11月1日 至平成28年7月31日	自平成26年11月1日 至平成27年7月31日	自平成27年11月1日 至平成28年7月31日	自平成27年11月1日 至平成28年7月31日	自平成26年11月1日 至平成27年7月31日
四半期（当期）純利益（△損失）	△ 3,708	9,138	4,783	10,213	△ 26,205			
その他の包括利益								
その他有価証券評価差額金	△ 26,024	△ 7,704	△ 14,241	△ 47,970	3,521			
土地再評価差額金	—	12,179	—	12,179	28,204			
持分法適用会社に対する持分相当額	—	—	—	—	△ 3,067			
その他の包括利益合計	△ 26,024	4,475	△ 14,241	△ 35,790	28,658			
包括利益	△ 29,733	13,613	△ 9,457	△ 25,577	2,452			
(内訳)								
親会社株主に係る包括利益	△ 29,733	13,613	△ 9,457	△ 25,577	2,452			
非支配株主に係る包括利益	—	—	—	—	—			

(注)

科目	期別	第92期 第1四半期	第92期 第2四半期	第92期 第3四半期	当期累計	前年同期累計
		自平成27年11月1日 至平成28年1月31日	自平成28年2月1日 至平成28年4月30日	自平成28年5月1日 至平成28年7月31日	自平成27年11月1日 至平成28年7月31日	自平成26年11月1日 至平成27年7月31日
期中平均株式数		3,567,237	3,567,137	3,567,137	3,567,177	3,568,137株
1株当たり四半期(当期)純利益		△1円04銭	2円56銭	1円34銭	2円86銭	△7円34銭
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益		—	—	—	—	—

※ 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業の種類	期別	第92期 第1四半期	第92期 第2四半期	第92期 第3四半期	当期累計	前年同期累計
		自平成27年11月1日 至平成28年1月31日	自平成28年2月1日 至平成28年4月30日	自平成28年5月1日 至平成28年7月31日	自平成27年11月1日 至平成28年7月31日	自平成26年11月1日 至平成27年7月31日
繊維事業		114,101	156,412	117,070	387,584	459,017
賃貸事業		49,686	49,888	49,965	149,539	127,049
物流事業		5,871	11,550	4,889	22,312	29,078
合計		169,660	217,851	171,925	559,436	615,145

(3) 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別	第91期末 (平成27年10月31日)	第92期 第1四半期 (平成28年1月31日)	第92期 第2四半期 (平成28年4月30日)	第92期 第3四半期 (平成28年7月31日)
	(資産の部)				
I 流動資産					
1 現金及び預金		65,809	153,435	191,282	89,179
2 受取手形及び売掛金		169,361	115,372	120,007	81,569
3 商品及び製品		151,624	159,782	166,061	167,872
4 仕掛品		2,555	3,611	536	33,715
5 原材料及び貯蔵品		76,572	164,510	133,801	134,524
6 未収消費税等		3,287	3,779	—	—
7 繰延税金資産		36,923	36,923	36,923	36,923
8 その他		11,085	12,010	9,876	21,329
9 貸倒引当金		△ 97	△ 97	△ 76	△ 76
流動資産合計		517,122	649,328	658,413	565,037
II 固定資産					
(1) 有形固定資産					
1 建物及び構築物		573,692	564,441	555,189	546,696
2 機械装置及び運搬具		23,883	23,436	23,442	22,540
3 土地		2,293,314	2,293,314	2,293,314	2,293,314
4 その他		6,447	5,960	5,884	5,329
有形固定資産合計		2,897,337	2,887,153	2,877,831	2,867,881
(2) 無形固定資産					
1 ソフトウェア		4	—	199	189
2 電話加入権		1,124	1,124	1,124	1,124
無形固定資産合計		1,128	1,124	1,323	1,313
(3) 投資その他の資産					
1 投資有価証券		227,551	187,605	175,572	153,734
2 保険積立金		109,250	110,021	112,003	112,003
3 その他		10,801	9,938	9,108	8,307
投資その他の資産合計		347,603	307,564	296,683	274,045
固定資産合計		3,246,070	3,195,842	3,175,838	3,143,239
資産合計		3,763,192	3,845,170	3,834,252	3,708,277

(単位：千円)

科目	期別			
	第91期末 (平成27年10月31日)	第92期 第1四半期 (平成28年1月31日)	第92期 第2四半期 (平成28年4月30日)	第92期 第3四半期 (平成28年7月31日)
(負債の部)				
I 流動負債				
1 支払手形及び買掛金	34,170	49,098	24,092	20,132
2 短期借入金	48,000	—	—	—
3 一年内返済予定の長期借入金	369,042	401,146	404,636	397,594
4 一年内返還予定の受入建設協力金	7,145	10,007	12,869	15,730
5 未払金	26,522	21,961	24,553	21,871
6 未払費用	83	139	159	147
7 未払法人税等	655	163	327	491
8 未払消費税等	2,938	2,344	4,808	3,408
9 その他	22,456	24,077	22,093	24,344
流動負債合計	511,014	508,938	493,540	483,721
II 固定負債				
1 長期借入金	789,897	921,258	934,686	839,040
2 受入建設協力金	197,044	193,111	189,178	185,246
3 繰延税金負債	50,967	37,045	32,716	25,121
4 再評価に係る繰延税金負債	558,491	558,491	546,311	546,311
5 退職給付に係る負債	15,822	16,115	14,071	14,481
6 長期預り敷金保証	149,832	149,832	149,755	149,821
固定負債合計	1,762,053	1,875,854	1,866,720	1,760,021
負債合計	2,273,068	2,384,792	2,360,260	2,243,743
(純資産の部)				
I 株主資本				
1 資本金	100,000	100,000	100,000	100,000
2 資本剰余金	322,741	322,741	322,741	322,741
3 利益剰余金	△ 70,842	△ 74,550	△ 65,412	△ 60,628
4 自己株式	△ 1,121	△ 1,133	△ 1,133	△ 1,133
株主資本合計	350,778	347,057	356,195	360,979
II その他の包括利益累計額				
1 その他有価証券評価差額金	95,279	69,255	61,551	47,309
2 土地再評価差額金	1,044,065	1,044,065	1,056,245	1,056,245
その他の包括利益累計額合計	1,139,345	1,113,321	1,117,796	1,103,554
純資産合計	1,490,123	1,460,378	1,473,992	1,464,534
負債純資産合計	3,763,192	3,845,170	3,834,252	3,708,277

※ 記載金額は千円未満を四捨五入して表示しております。

(注)

科目	期別			
	第91期末 (平成27年10月31日)	第92期 第1四半期 (平成28年1月31日)	第92期 第2四半期 (平成28年4月30日)	第92期 第3四半期 (平成28年7月31日)
発行済株式総数	3,589,000	3,589,000株	3,589,000株	3,589,000株
1 株当たり純資産額	417円71銭	409円40銭	413円21銭	410円56銭

※ 発行済株式総数には自己株式数が含まれております。(平成27年10月31日21,663株、平成28年1月31日21,863株、平成28年4月30日21,863株、平成28年7月31日21,863株)

(4) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

項目	株主資本					その他の包括利益 累計額合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成27年10月31日残高	100,000	322,741	△ 70,842	△ 1,121	350,778	1,139,345	1,490,123
第1四半期中の変動額							
四半期純利益(△同損失)	—	—	△ 3,708	—	△ 3,708	—	△ 3,708
自己株式の取得	—	—	—	△ 12	△ 12	—	△ 12
株主資本以外の項目の第1四半期中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△ 26,024	△ 26,024
第1四半期中の変動額合計	—	—	△ 3,708	△ 12	△ 3,720	△ 26,024	△ 29,745
平成28年1月31日残高	100,000	322,741	△ 74,550	△ 1,133	347,057	1,113,321	1,460,378
第2四半期中の変動額							
四半期純利益	—	—	9,138	—	9,138	—	9,138
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の第2四半期中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	4,475	4,475
第2四半期中の変動額合計	—	—	9,138	—	9,138	4,475	13,613
平成28年4月31日残高	100,000	322,741	△ 65,412	△ 1,133	356,195	1,117,796	1,473,992
第3四半期中の変動額							
四半期純利益	—	—	4,783	—	4,783	—	4,783
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の第3四半期中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△ 14,241	△ 14,241
第3四半期中の変動額合計	—	—	4,783	—	4,783	△ 14,241	△ 9,457
平成28年7月31日残高	100,000	322,741	△ 60,628	△ 1,133	360,979	1,103,554	1,464,534

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「半期報告書第5経理の状況1〔中間連結財務諸表等〕(1) 中間連結財務諸表 注記事項 (中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)」をご参照下さい。

連結会計期間の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 固定資産の減価償却の方法 各四半期の減価償却費は年間発生見積額の4分の1に該当する金額を計上しております。
2. 法人税、住民税及び事業税の計上基準 各四半期においては、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
3. 経過勘定項目 未収収益、未払費用等の経過勘定項目の内、重要性の低い項目は、四半期決算書上資産及び負債への計上を省略しております。
4. 消費税等の会計処理 仮払消費税等及び仮受消費税等を相殺し、流動負債の「未払消費税等」に表示しております。

なお、当該四半期の貸借対照表、損益計算書及び株主変動計算書については、公認会計士の監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準等の適用」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び小株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前四半期連結会計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えをおこなっております。

当四半期連結会計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当四半期連結会計期間において、四半期連結財務諸表及び1株当たり情報に与える影響額はありません。

II 第92期 第3四半期累計期間(平成27年11月1日～平成28年7月31日)の業績概況の説明

当第3四半期連結結果会計期間におけるわが国経済は、企業業績では熊本地震と円高為替の影響から製造業を中心に昨年同期比で大幅な減益となり、さらに海外では英国のEU離脱、欧州各地でのテロ発生、トルコでのクーデター未遂などに加え、新興国の景気減速が一層鮮明となり世界経済の先行きも不透明な状況にあります。内需においては、訪日外国人が増加する一方で需要動向の変化が顕著となり、個人消費は先行き不安から節約志向をさらに強めており景気拡大は低調なまま推移いたしました。

繊維業界におきましてもアパレル分野は世界的に低調で、国内百貨店売上高は7月まで5ヶ月連続の前年同月比マイナスとなり、主力の衣料品は9ヶ月連続の前年割れとなるという厳しい商況となりました。このようななかで大手アパレル各社ともに店舗やブランドの統廃合といった事業再構築を進めておりますが、収益状況の回復には至っておりません。

このような経営環境のなか、当社グループは経営基盤の強化・経営資源の有効活用を推し進めるとともに、事業収益・財務体質の改善に取り組み、厳しい経営環境のなかでも即応できる柔軟かつ強固な事業体制作りを進めてまいりました。その結果、当年第3四半期までの売上高は、559,436千円(前年同期比△9.1%)と減収となりましたが、収益面は、営業利益17,621千円(前年同期4,863千円の営業損失)、経常利益11,651千円(前年同期16,674千円の経常損失)、親会社株主に帰属する当期純利益10,213千円(前年同期26,205千円の親会社株主に帰属する当期純損失)とそれぞれ増益となりました。なお、平成28年3月1日付「連結子会社における特別損失の計上に関するお知らせ」にて開示しております連結子会社の特別退職金947千円を計上しました。

III 第92期通期連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第92期通期の売上高及び利益の予想につきましては、平成28年6月15日付当社「平成28年10月期 第2四半期決算短信」における平成28年10月期の連結業績予想の修正は行っておりません。

(単位：千円)

科 目	期 別	第91期 (実績)	第92期 (予想)
		自 平成26年11月1日 至 平成27年10月31日	自 平成27年11月1日 至 平成28年10月31日
売 上 高		894,963	950,000
経 常 利 益		△ 1,545	50,000
親会社株主に帰属する当期純利益		23,007	78,000

IV 資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

(単位：千円)

科 目	期 別		期 別		期 別		前年同期	
	第92期 第1四半期	第92期 第2四半期	第92期 第3四半期	第92期 第4四半期	自 平成27年11月1日 至 平成28年1月31日	自 平成27年11月1日 至 平成28年4月30日	自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日	自 平成26年10月1日 至 平成27年7月31日
I 営業活動によるキャッシュ・フロー								
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△ 3,545	5,757	10,704				△ 25,714	
減価償却費	10,607	21,298	32,020				23,988	
関係会社出資金売却益	—	—	—				△ 3,817	
持分法による投資損失(△は益)	—	—	—				3,569	
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△ 21	△ 21				△ 14	
受取利息及び受取配当金	△ 3,267	△ 3,281	△ 6,611				△ 7,758	
支払利息	4,344	8,337	12,116				14,677	
為替差損益(△は益)	0	12	18				1,106	
固定資産除却損	—	—	—				12,857	
売上債権の増減額(△は増加)	53,988	49,353	87,791				80,925	
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 97,152	△ 69,648	△ 105,361				△ 52,517	
仕入債務の増減額(△は減少)	14,927	△ 10,078	△ 14,038				△ 12,050	
未払消費税等の増減額(△は減少)	△ 593	1,870	470				△ 9,720	
その他	△ 3,915	723	△ 10,462				△ 21,580	
小計	△ 24,604	4,324	6,628				3,951	
利息及び配当金の受取額	3,267	3,281	6,611				7,758	
利息の支払額	△ 3,574	△ 6,955	△ 10,166				△ 12,591	
法人税等の支払額	△ 655	△ 655	△ 655				△ 709	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 25,566	△ 4	2,418				△ 1,590	
II 投資活動によるキャッシュ・フロー								
有形固定資産の取得による支出	△ 419	△ 1,987	△ 2,538				△ 93,449	
無形固定資産の取得による支出	—	—	△ 210				—	
保険積立金の積立による支出	△ 770	△ 2,752	△ 2,752				△ 2,752	
その他	—	—	—				—	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,189	△ 4,739	△ 5,500				△ 96,201	
III 財務活動によるキャッシュ・フロー								
短期借入金の増減額(△は減少)	△ 48,000	△ 48,000	△ 48,000				△ 9,000	
長期借入金の借入による収入	260,000	380,000	380,000				360,000	
長期借入金の返済による支出	△ 96,535	△ 199,617	△ 302,305				△ 274,016	
建設協力金の受入による収入	—	—	—				30,000	
建設協力金の返還による支出	△ 1,071	△ 2,142	△ 3,213				△ 7,751	
自己株式の取得による支出	△ 12	△ 12	△ 12				△ 72	
財務活動によるキャッシュ・フロー	114,382	130,229	26,470				99,160	
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△ 12	△ 18				△ 1,106	
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	87,625	125,472	23,369				261	
VI 現金及び現金同等物の期首残高	65,809	65,809	65,809				74,787	
VII 現金及び現金同等物の期末残高	153,435	191,282	89,179				75,049	

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

(主な増減理由)

主な増減は以下のとおりです。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期末における現金及び現金同等物は、営業活動および財務活動によって生じた資金の一部を投資活動に充てた結果、残高が89,179千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2,418千円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益および売上債権の減少等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、5,500千円となりました。これは主に有形固定資産の取得として2,538千円、保険積立金の積立として2,752千円にそれぞれ使用したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、26,470千円となりました。これは主に長期借入金の借入によるものであります。

(2) 短期借入金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別		期 別		期 別		
	第92期 第1四半期	第92期 第2四半期	第92期 第3四半期	第92期 第4四半期	自 平成27年11月1日 至 平成28年1月31日	自 平成28年2月1日 至 平成28年4月30日	自 平成28年5月1日 至 平成28年7月31日
短期借入金の増減(△)額	△ 48,000	—	—				—
短期借入金の四半期首残高	48,000	—	—				—
短期借入金の四半期末残高	—	—	—				—

(主な増減理由)

第3四半期における増減はありません。

(3) 長期借入金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第92期 第1四半期 自 平成27年11月1日 至 平成28年1月31日	第92期 第2四半期 自 平成28年2月1日 至 平成28年4月30日	第92期 第3四半期 自 平成28年5月1日 至 平成28年7月31日
	長期借入金の増減(△)額		163,465	16,918
長期借入金の四半期首残高		1,158,939	1,322,404	1,339,322
長期借入金の四半期末残高		1,322,404	1,339,322	1,236,634

(注) 長期借入金は1年以内返済予定長期借入金を含んでおります。

(主な増減理由)

長期借入金の返済による減少したものであります。

V その他

該当事項はありません。